

# 桐生西ロータリークラブ週報

Rotary



2019-20年度RIテーマ

マーク・ダニエル・マローニーRI会長

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ



例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155  
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777  
 会長 新木明夫 幹事 山形 剛 クラブ会報・雑誌担当 松戸義澄  
 公共イメージ委員長:阿左美博 委員:金子福松、江原利夫(歴史編集:江崎和樹) 唐澤聖弘

No. 2191

2020年2月7日発行

## 第2324例会 (2020・1・31) 報告

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘        | 7. 食 事       |
| 2. ロータリーソング   | 8. 委員会報告     |
| 3. 来訪者紹介      | 9. 施設優良職員表彰  |
| 4. 新築祝い 向田 靖君 | 10. 点 鐘      |
| 5. 会長の時間      | 11. ロータリーソング |
| 6. 幹事報告       |              |

### ◆ピジター

(福)希望の家	デイサービスおひさま	関山 恵理様
(福)チハヤ会	は一とふるチハヤ	柳川 幸子様
(福)桐生市社会福祉協議会	桐生みやま園	永井 友仁様
"	"	曾根 祐子様
(福)広済会	つつじヶ丘ホーム	小倉 律子様
"	つつじヶ丘光の園	小林 香純様
(福)三和会	工房ふじ	須藤 光男様
"	エルシーヌ藤ヶ丘	茂木 藤丸様
(福)桐の実会	わたらせ養護園	落合しおり様
桐生タイムス社	記者	猪狩 早苗様
上毛新聞社	記者	高橋 克典様

### ◆新築祝い

向田 靖君

ご自宅を新築されました。おめでとうございます。



新木会長

### ◆会長の時間

- 25日(土)のロータリーアクト国際料理会についてクラブ会報で紹介されております通り、当クラブの関係会員も参加して楽しく美味しく戴いて参りました。
- 昨晚、桐生4RC会長幹事会が開催され、主にIMの開催事項の確認ならびに幹事クラブから再度参加要請がありました。また、恒例の群馬大学理工学部留学生交流会は4月25日(土)に桐生赤城RCがホストで開催する事になりました。

### ◆幹事報告

山形幹事

- ◇次例会はB方式で行います。(正午~昼食、点鐘12:30)
- ◇ロータリー財団と米山奨学の確定申告用の領収証一式を配布致しました。
- ◇(株)クマヒラ、(株)クマヒラ製作所 会長・熊平雅人様(東京RC)より『抜萃つづりその七十九』を全会員数お贈り頂きました。

◇下記のものが届いております。

- ・米山奨学会より奨学生に対して新型コロナウイルスの注意喚起メール
- ・劇団四季より団体先行予約のご案内メール
- ・フジマキネクタイより次年度カタログ

◇例会変更のお知らせ

碓井安中RC 2/20,3/12,3/26

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 1/20

桐生赤城RC 1/14

### ◆食事メニュー

1012キロカロリー

豚汁うどん、いなり寿司、海老天、白菜と柚子のお浸し

### ◆委員会報告

#### □クラブ運営委員会

#### ◇出席報告

東郷(学)出席担当

会員総数55名 (出席免除者10名の内5名出席の為)  
 出席率対象者50名、出席率対象者出席人数37名  
 欠席者13名(内前メイク4名) 出席率82.00%  
 前々例会修正出席率88.68% (最終欠席者6名)

#### □拠金委員会

#### ◇ニコニコBOX

中里ニコニコBOX担当

施設優良職員表彰受賞者の皆様おめでとうございます  
 新木君、野田君、家住君、近藤君、乾君、前原君、清水君、阿左美君、加藤君、浦野君、坪井君  
 新築祝いありがとうございます 向田君

#### ◇ロータリー財団

加藤ロータリー財団担当

施設優良職員表彰受賞者の皆様おめでとうございます  
 新木君、野田君、近藤君、前原君、青山君、清水君、阿左美君、加藤君、坪井君

#### ◇ロータリー財団

加藤ロータリー財団担当

施設優良職員表彰受賞者の皆様おめでとうございます  
 新木君、野田君、近藤君、前原君、青山君、清水君、阿左美君、加藤君、坪井君  
 過日のロータリーアクトの食事に美味しかったです 家住君  
 今月で1月も終わりですね。寒暖差が大きくて身体も悲鳴をあげそうです 新島君  
 古紙が値下がりしてひどい状態です 船戸君  
 ウイルスあわてず予防ですね 浦野君

◇米山BOX

早川米山奨学担当

施設優良職員表彰受賞者の皆様おめでとうございます  
 新木君、清水君、加藤君、坪井君、江原君  
 WHO緊急事態宣言発令、皆さんを付けましょう 青山君  
 iPS細胞からの心筋移植、心臓病で苦しむ患者さんには朗報ですね。素晴らしい 野田君  
 我が家の子共達は小6と中3、来春から次のステージ中1と高1になります。楽しみです 新島君  
 天沼パスト会長さん月曜日はご苦労様でした 船戸君

春よ来い。頭は年中無休春  
 強風に吹き飛ばされそうです

浦野君  
 乾君

口会 計 小林(恵)会計

本日確定申告で使用する寄付金の領収証を皆さんにお渡ししましたので還付等受けて頂きたいと思えます。米山奨学会の領収証は2枚あり、うち普通寄付金(上期と下期で合計3,000円)は年会費の中から拠出しています。年会費を法人で負担している場合は寄付金控除の対象になりませんので、ご留意下さい。

第33回 施設優良職員職業奉仕賞表彰式 挙 行



新木会長よりお祝いの言葉

今日はお忙しい中、出席頂きありがとうございます。  
 日々、弱い立場の人達、障害を持った子ども達に献身的に尽くされている皆さんに、改めて敬意を表します。  
 職業に貴賤は無いといいますが、皆さんは貴いけれど過酷な大変なお仕事をされ、その上、立派に職場での使命を果たされ、そして推薦され今日ここに表彰されました。  
 本当にご苦労様です。そして受賞おめでとうございます。  
 今後もご自身の健康に充分留意され、清水先生が言われた「愛を持った職業奉仕者」として活躍されることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

受賞者の皆様

- |                  |            |        |
|------------------|------------|--------|
| 社会福祉法人希望の家       | 療育センターきぼう  | 有坂 誠 様 |
| 〃                | デイサービスおひさま | 関山 恵理様 |
| 社会福祉法人チハヤ会       | はーとふるチハヤ   | 柳川 幸子様 |
| 〃                | 〃          | 岩崎 和枝様 |
| 社会福祉法人桐生市社会福祉協議会 | 桐生みやま園     | 永井 友仁様 |
| 〃                | 〃          | 曾根 祐子様 |
| 社会福祉法人広済会        | つつじヶ丘ホーム   | 小倉 律子様 |
| 〃                | つつじヶ丘光の園   | 小林 香純様 |
| 社会福祉法人三和会        | 工房ふじ       | 須藤 光男様 |
| 〃                | エルシーヌ藤ヶ丘   | 茂木 藤丸様 |
| 社会福祉法人桐の実会       | わたらせ養護園    | 落合しおり様 |



司会進行 および趣旨説明

職業奉仕担当  
 井本万里子君

これから、今回で33回目になります桐生西ロータリークラブの施設優良職員職業奉仕賞授与式を開催させていただきます。  
 先ず、簡単にこの表彰の趣旨や今日迄の歴史についてお話をさせていただきます。  
 今から約34年前の1986年(昭和61年)10月24日の例会で第1回が開催されました。区域内の6つの障害者施設、1.わたらせ養護園、2.希望の家、3.つつじヶ丘学園、4.チハヤ養護園(現・はーとふるチハヤ) 5.藤ヶ丘学園(現・三和会エルシーヌ藤ヶ丘)、6.桐生みやま園、以上の6施設から、毎年、優秀な職員さんを2名ずつ推薦して頂きまして、例会へご招待し、会員みんなで歓迎して、昼食を共にし、表彰し、ささやかですが記念品を差し上げて、日頃の労をねぎらう、というのを趣旨としております。



1996年の第10回に至った際には、地区から『意義ある業績賞』という大変名誉ある賞を受賞しております。  
 また、第1回目の時、この表彰にご賛同いただきました、わたらせ養護園の当時の施設長様・清水俊衣先生にお越し頂きまして、今でもクラブで語り継がれる感動的な卓話をして頂きました。その内容を、各テーブルに、被表彰者の皆様にはそれぞれ配布させて頂いておりますので、是非ご一読頂きたいと思えます。  
 尚、清水先生は平成26年5月31日、享年98歳でご逝去されました。本日の施設優良職員表彰に際しまして、謹んで感謝の気持ちを捧げご冥福をお祈り申し上げます。

謝辞 および 体験談



重症心身障害児・者  
デイサービスおひさま

関山 恵理様

この度は、桐生西ロータリークラブ様の施設優良職員表彰として盛大な式にお招き頂き、誠にありがとうございます。心より深く感謝申し上げます。

私は、平成8年に社会福祉法人 希望の家に介護福祉士として入社し、特別養護老人ホームのぞみの苑に約4年間勤務致しました。人生経験豊富なお年寄りの方達からたくさんのお話や唄、知恵などを教えて頂き、とても楽しく仕事をする事ができました。

その後、希望の家に異動となり、約19年間、重症心身障害児者の方達と共に過ごしてきました。

初めは、利用者様の訴えを理解することが出来ず、自分の未熟さを痛感する日々でしたが、先輩方のご指導や、利用者様との日々のふれあいから徐々に理解できる様になりました。

これまで、介護福祉士としてどんなときも「相手の立場になって考えること」と「1日1日を大事にし、笑って過ごすこと」を心掛けて援助してきました。当たり前のことですが、なかなか難しく、思うようにいかないことも多々ありました。でも、いつでも利用者様は優しく温かく、そして素直な心で、私と向き合ってくださいました。そのお陰でいつも初心に返ることが出来ました。

また、施設での援助は同じ職場で働くスタッフとのチームプレイです。スタッフ同士の信頼関係やよい雰囲気はとても大切で、利用者様により良い援助をするために、何より必要なことと思います。

私がこれまで笑顔で務めてこられたのも、利用者様とスタッフの支えがあってこそです。本当に感謝しています。

長く入所部門に勤務していましたが、昨年11月よりデイサービスおひさまで働くことになりました。在宅で生活されている方の援助は初めてで、分からないことや不安なこともたくさんありますが、これまでの経験や、利用者様から教えて頂いたことを活かし、「今日もここにきて良かった」と言ってもらえるようなデイサービスであり続けられるよう、スタッフと共に頑張っていきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。



木工芸館  
工房ふじ

須藤 光男様

桐生西ロータリークラブ様より施設優良職員として栄ある表彰を受けました一同を代表いたしまして、一言謝辞を述べさせていただきます。

本日、例会に招待いただき、その上、表彰状および記念品を賜りましたことは、誠に身にあまる光栄でございます。厚く御礼申し上げます。

私は、社会福祉法人三和会内にご 있습니다、木工芸館工房ふじという事業所で、知的ハンディをお持ちの利用者様の作業支援を行っています。

工房ふじは四班に分かれています。各種木工品の生産と販売を行う木工班、会葬御礼品やお祭り用品等の箱詰めやパッケージングを行うパッケージ班、様々な内職等の作業を行うふたば班、薪の生産と販売を行う薪班がありまして、利用者様の希望を第一に、それぞれの個性に合った作業を提供しています。

その中で私は、昨年の四月より薪班に所属しています。薪班のメンバーは全員男性で、工房ふじの中でも特に個性の強い方が多く、良い意味で刺激的な毎日とても充実しています。

工房ふじでの勤務も15年になり、15年間支援させて頂き、自分では理解しているつもり利用者様でも、新たに得意なことや個性の発見ができることは、自分自身のやり甲斐につながっていると思います。

薪班では、お互いに褒め合う雰囲気づくりを大切に作業を行っています。異動となった四月当初は、支援員から進んで褒めることを始め、今ではそれに気が付き、お互いに褒め合う方が徐々に増えてきており、班内の雰囲気がとても良くなりました。雰囲気が良くなり、生産性も向上しています。

また、薪の納品等で利用者様がお客様と会う機会を増やすことも行っています。自分自身で生産した薪がお客様に喜んで頂けるその瞬間に立ち会うことは、利用者様の喜びであるようです。

私は、まだまだ薪班支援員としては未熟で課題はたくさんありますが、利用者様が笑顔で「三和会 工房ふじ 薪班でよかった」の言葉が聞けるよう、今後も職務に尽くす所存でございます。

本日は、誠にありがとうございました。文整わず簡単ではございますが、感謝の言葉に代えさせていただきます。

今でもクラブで語り継がれる 第1回 職業奉仕賞 (1986.10.24)での感動的な卓話全文

“「施設の日々」～くりかえす一つ一つの努力が心と社会性を育む!!”

わたらせ養護園 名誉施設長 故 清水俊衣様

清水先生が常に言われていたお言葉「思うだけじゃ同情よ、実践することが奉仕」



ありし日の清水先生

「心配はいらないよ、しかし相当疲れているようです。検査の為お預かりしますが、軽い胃炎のようです。」

本日は12名の職員の表彰を頂きました。職員ともども感謝申し上げますと共に、施設の事をご紹介致し、御礼に代えさせていただきます。

昨日、私は施設の職員を一人、病院に入院させました。この春、職員として勤められた方でした。保育短大を卒業した新人です。病院の先生から電話を頂きまして、

ほっとして「お願いします」とお頼みして今日で2日目でございます。

夢を持って短大や大学を卒業して駆け込んできた若い人達。又どうしてもこの施設で働きたいのだと、足を何度も運んで来られた方でも、施設に勤務した3ヶ月は本当に笑えない顔をしています。その顔を私はチラッ、チラッと観ながら、



卓話時の清水先生

あゝ辛いんだなあ・・・と思っております。その内に声がかやと出てくるようになります。事務所の中で、その職

員の声が聞こえたら、もう一人前です。子供を叱る声、子供と遊ぶ声が聞こえてくれば宜しいのですが、人によってはなかなか聞こえてきません。

昨日、入院した職員はもう半年間勤めました。4月から緊張して一生懸命やってきたから、私はどうも疲労しているのだと思ったのですが、私には「大丈夫です。大丈夫です。」と言いながら、自分の心身の方に過労が重なってしまったようです。親には電話で「心配しないで・・・、ちょっとよい休みですから・・・」と話しました。

私の施設では夜勤は2名で40名の手のかかる障害をもった子ども達の面倒をみます。ある夜、私が起きて行きましたら、その日の夜勤の一人がボロボロ涙を流して座っていました。もう一人の人に「済まないけれど休ませてちょうだい」と、宿直室に連れてきました。「どうして泣くの？」と聞きますと「先生、私は子供が嫌いなんですか？」と応えました。国立指導員養成所(秩父学園)を卒業し、経験を積んで勤務された方です。「先生、なんだか自分が覚えこんできたのに、私は自分の心を偽っているような気がします。私は本当は子供が嫌いじゃないかと、今思われて眠れません・・・」と話します。

「あなたの言うこと、気持ちはよく解るけど、今日はともかく横になって眠りなさい」と休ませた事があります。

今日、表彰された方々は既にその様な課題を乗り越えて、自分の職場に喜びと使命感を持ってやっている方々です。施設という職場は、その様な出発を誰でも持っています。と言うことは、相当厳しい職場であると申し上げたいと思います。

私の施設では、2才から小学校3年生(40名)の知恵遅れと思われる子供が24時間、父母よりお預かりして面倒を見させて戴いております。「まあ2才、3才というのに、愛おしい子供を何でそんなことを？」と親でなくとも誰もがその様に思うと思います。しかし年齢には関係ありません。障害者の場合、30才になったとしても、親が施設に預けるのは悲しい事です。それをどうして施設に預けるのか？それは今、その子にとって施設がいちばん幸福な場所だからなんです。親がいくら抱いていくら愛しても1対1では子供の成長はありません。やがて社会人として少しでも社会に復帰して、社会参加をしなければなりません。不憫だといって親が抱え込んでいても成長はありません。従いまして、親と私達と県の児童相談所で、今、この子にとっていちばん幸福な場はどこかを考え合います。そしてお預かり致します。そう信じなければ、子供がかわいそうで受け取れません。

2才、3才、口もきけない、ご飯も一人で食べられない。オシッコもウンチも教えられない。けれども眼を見ると「おろおろ」と大好きな父や母を思って私に全身で訴えます。言葉はないけれども、子供の心は全て私達に伝わってきます。その痛ましい子供たちの心を考えたら、親に抱かせた方がいいのじゃないかとも思います。

しかし、施設には施設の使命があります。職員は親の心、子の心の全てを知って一生懸命お手伝いをしようという事で、お手伝いをさせて頂いております。

40名の施設の子供の中で10名ほどは帰る家がありません。帰る所がありません。お正月も夏休みもずっと施設の子です。私どもで大きくなって、つつじヶ丘さんやチハヤさんや、その他の施設の方のお世話になります。

残りの子供達は立派な両親や家族があります。子供の為に良い効果をあげる為に働いているのが職員方です。施設長などと名が付いていますが、私が一晩でも夜勤をしたら倒れるでしょう。若い20才近い職員が一晩寝ずに40名の面倒をみて朝帰ります。「さよなら」という挨拶に「ご苦労様」と声を掛けますが、何とその顔が哀れです。疲れ果てて蒼ざめています。随分辛い仕事だと思えます。親の出来ない事をしてしています。寝ずに子供達をお預かりしている緊張感と勤務の厳しさは、先程の若い

職員も、みんな一通り蒼ざめて笑えない顔をします。しかし、それを乗り越えた職員は本当に一生懸命頑張っております。

先程、感激しましたのは、「職業奉仕賞」という言葉を頂いた事です。今日初めてこの言葉を頂きました。心が無かったら、お金の為のみに働く人間であつたら、ロボットより悪いと思います。この子供達や、大人の障害者をお預かりして、心なくして働ける人は無いと思います。障害者の人々も子供達も皆人間としては同等です。立派な人格の所有者です。知恵遅れでも立派な心はあります。私も20年間、今にしてその子供達に教えられて自分の責任を果たしているところです。

「ト一先生なんて大嫌い、いや、いや」と言っていて私にすねて、脱いだ靴で私を叩いてのしる子供に、カッとします。私も人間ですから。しかし、自分の胸をなでおろして「みっちゃん、みっちゃんはト一先生は大嫌いと言ったけれど、先生はみっちゃんが好きよ。本当に大好きよ」と言いながら、自分の心にも言い聞かせます。すると狂っていた情緒障害のみち子がいつの間にか笑顔になっています。みち子は私の心を確かめたり試したりしているのだと思います。私が感情的になっていけば、みち子は悲しい思いをします。その様な子供の微妙な心を受け止めながら、根気よく根気よく、職員達は皆様が考えたらあんなことを、こんなことをと思われる様な事を教えています。

ご馳走があっても手が出ない。アーンと口を開けたら誰かが口に入れてくれる、養ってくれる。それに馴れた子供達は自分で食べようとしません。私達は「あなた手づかみでもよいから自分で食べ、食べられないと生きていられないのよ」と言い聞かせて、手を添えておかずをご飯に混ぜて手づかみで食べさせます。厭がってご飯を放り出します。でも手を添えて教えます。根気よく根気よくしている内に、放っていた手が頭の方にいったり鼻の所にいったり、そのうち口の所にいき、半分位なめたり食べたりします。それが自分の力です。どんな障害者を持った子供でも可能性を持っています。自分の力があります。どの様に障害の重い子供に対しても職員はそれを信じて、どんなに時間が掛かっても根気よく根気よく、健常児だったら自然に覚えてしまう生活の基本的習慣を、ささやきかけ働きかけをして教えます。

子供のおもりではありません。私はよく職員に小言を言います。「子供のおもりをしているんだつたらあなたは要りません。その辺のおばさんと呼んできておもりをしてもらおうよ!」「あなたたちには使命があるのよ。この子の指導者なのよ。指導者として使命を持ってやって下さい。」

本当ににこやかに何千遍、何万遍、耳元でささやいているかわかりません。オシッコをちびつても良し悪しが判りません。そんな子供を叱つてもだめです。「あら、また漏れちゃったの。気持ち悪いでしょ」と、一日に何度も何度も着替えさせます。ここには仕事を超えた子供への愛のささやきがあります。その愛のささやきが職業奉仕者という、ロータリーの皆様の尊い言葉となって、お誉め頂いたと感激致しております。職員に対しましては、私たち管理者はどんなに手を合わせて「ありがとう」と感謝しているか解りません。認めて頂いた職員はいそいそと、とっても嬉しそうでした。時間があればそんなことも話してみたかったです。愛を持った職業奉仕者となって、自分の職場での使命をこれからも果たしたいと思えます。これからも応援して頂きたいと思えます。本日はありがとうございました。

### 《次例会予告》

2月14日(金) 外部卓話 自衛隊広報官 松田忠様  
2月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い